

「社会保障と税の一体改革」について研修

連合滋賀議員団「ネットワーク会議」

連合滋賀議員団会議は、5月21日（水）に連合議員団・連合滋賀役員62名が参加し、ネットワーク会議を開催しました。

研修会では、徳永久志参議院議員から、当面する国政の課題として①社会保障と税の一体改革②今夏の電力不足問題を中心に、これまでの政権与党として取り組んだ子ども手当、高校無償化、農業の戸別所得補償、診療報酬改定などについて国政報告をされました。



徳永参議院議員

また、「連合が考える社会保障と税の一体改革」について連合本部から仁平章経済政策局長と森原琴恵生活福祉局長から具体的な内容について説明がされ、現在国会で議論がされている政府・与党の「社会保



連合仁平さん(左) 森原さん(右)

障・税一体改革関連法案」のポイントと評価がされました。

「一体改革大綱」で示された改革の方向性は、連合が掲げる「新21世紀社会保障ビジョン」「第3次税政改革基本大綱」の方向性と概ね一致しており、基本的に評価できます。

子ども子育て新システム、短時間労働者への社会保険適用等に関する国民年金法改正法案など法案を確実に成立させ、制度の定着を図り、さらに充実に向けた見直しを進める必要があります。また、社会保障の安定財源を確保するための消費税引き上げ社会保障4経費（年金・医療・介護・少子化対策）に全額充当することや、消費税の逆進性対策として番号制度の導入等が盛り込まれたことは評価できます。

今国会での与野党での真摯な議論を経て、法案の成立を強く求めます。

組合活動に女性がいるのが自然な風景

労働組合における男女平等参画を進めよう

6月は男女平等月間

第22回 びわ湖クリーンフィッシング大会

The 22th Lake-Biwa Clean Fishing Competition 2012

2012年 6月16日(土)

雨天決行(警報発令時、6月17日に順延します)

参加受付・審査時間 / AM8:00~AM11:00

表彰式 / AM11:00~

WANTED みんな集まれ!

事前申し込みは必要なし!

だれでも参加OK! 初心者の方も大歓迎!!

釣具の無料貸し出し!!

当日現金、お釣あり!! エサの用意あり!!

今大会は琵琶湖の環境保全と生態系保護を目的としています。

各会場で、抽選券を配布します。釣れなかった方も、コマを引く機会に配布致します。ぜひご参加ください!!

主催 日本労働組合総連合会滋賀県連合会(連合滋賀) 連合滋賀青年委員会

お問い合わせ先 ☎ 077-523-0500 (連合滋賀)



連合滋賀

日本労働組合総連合会滋賀県連合会

2012年5月28日
連合滋賀 第232号
大津市松本2丁目10-6
電話077-523-0500
発行・山田 清
編集・上田 薫
(定価 1部6円)
印刷 ユメディア株式会社

働くことを軸とする安心社会の実現

第83回滋賀県労働者統一メーデー 県内4会場に4,400名が結集

連合滋賀と滋賀県労働者福祉協議会は、「日本全体でつながり・支えあおう!すべての働く者の連帯で働くことを軸とする安心社会を実現しよう!」をメインスローガンに、第83回滋賀県労働者統一メーデーを開催しました。

メーデー中央集会は、子どもたちや家族連れなど組合員1,100人が参加し大津市民会館で開催されました。

メーデーのオープニングではジャグラーレオさんによるジャグリングで始まり、式典では、開催地である大津・高島メーデー実行委員会の藤川長隆実行委員長の開会挨拶、中央集会の主催者を代表して、連合滋賀の山田清会長が挨拶を行いました。また、嘉田由紀子滋賀県知事、越直美大津市長、川端達夫総務大臣をはじめ衆参国會議員、政党、友誼団体、事業団体から多くのご来賓の方々にご臨席いただき、それぞれの立場からご挨拶をいただきました。



挨拶に立つ山田清連合滋賀会長

その後、メーデー宣言、メーデースローガンの採択を行いガンバロウ三唱で式典を終えました。また、震災復興支援として東北地方の名産品を賞品にした抽選会が行われ、会場ロビーでは、東日本大震災時の連合の復興ボランティア活動の記録パネルの展示や青年委員会によるカンパ活動も実施されました。

メーデー地区集会は28日に、ひこね市文化プラザと栗東文化芸術会館で、29日には竜王町ドラゴンハットでそれぞれの地域の趣向を凝らした集会が開催され、県内4会場で4,400名が結集しました。



第 83 回 滋賀県労働者統一メーデー 宣言

私たちは、本日第83回滋賀県労働者統一メーデーを迎えた。2011年3月11日に未曾有の大災害となった東日本大震災によって多くの命が奪われ、今なお被災地の方々は、大変な苦労を強いられている状況下にある。

私たちは、震災直後から運動の重点を災害からの復興・再生に向け、政府との活発な政策・制度の協議を実施し、また、カンパボランティア活動を通じて、地域一体となった貴重な取り組みを経験し、「つながろうNIPPON」の必要性を痛感した。また、働く者の団結が、被災地を支援し、復興・再生に大きな力を与えるものであることを確信した。私たちは、これからも被災地とつながり絆を深め、復興・再生を軸に「雇用と生活の再建」に向けて全力をつくす。

東日本の復興・再生をめざすなか、デフレの進行、円高など、取り巻く環境は非常に厳しく、また、非正規労働者の増加、勤労者の雇用不安、賃金不安、社会保障への不安などが影響し日本経済は、低迷が続いている。

私たちは、格差是正、底上げ・底支えの取り組みをすすめるとともに、適正な成果配分を追求する春季生活闘争を強化する。適正な配分により中間層を厚し、消費の拡大、内需拡大へつなげ、持続可能な成長を達成しよう!

世界には、自由と平和を脅かす情勢が続いている。いまだに繰り返される核開発・核実験問題、北朝鮮拉致問題、そして今なお世界各地での地域紛争など深刻な状況にある。

私たちは、核兵器廃絶と世界の恒久平和の実現、人権侵害救済のため、訴え、行動していく。

メーデーは国際連帯の日である。「国際労働組合総連合」(ITUC)は、グローバル化などによる貧困や飢餓、環境破壊や人権侵害、紛争やテロをなくすため、また、「ディーセントワーク」(働きがいのある人間らしい仕事)の実現のために、世界中の労働者に立ち上がるよう呼びかけている。

今こそ、すべての働く者の連帯と、NPO・NGOとの連携で「働くことを軸とする安心社会」の実現をすることを宣言する!

飢餓の子どもたちへ ～マリ共和国にお米を送ろう～

アジア・アフリカ支援米滋賀県実行委員会（「連合滋賀」と「食とみどり・水を守る滋賀県民会議」で構成）では、毎年、減反田を利用して飢餓に苦しむアフリカの人々へお米を送る運動をしています。

5月12日（土）天気予報では晴れのち曇りのはずが、朝から小雨が降ったりやんだりという状況のなか、高島の会場は、雨はやんだものの冷たい強風にさらされました。しかし、このような悪天候でも28名のボランティア参加者が、マリ共和国へお米を送ろうと集まりました。

寒い中、コシヒカリを昔ながらの手植えにより植えているうちに、寒さも忘れ夢になっていました。初めて参加した人は、「寒かったけど、すごくいい経験ができた。秋の収穫もぜひ参加したい」と、秋晴れの収穫を願っておられました。

収穫まで私たちが植えた稲を大切に育ててくださる田んぼの持ち主の方に感謝しながら、元気に実ってくれるのを願うところです。

秋の収穫〔稲刈り〕には、田植えにご協力くださった方や、興味を持ってくださった方など、多くの皆さんのご協力をお願いいたします。



長浜曳山まつりで ヨイサー ヨイサー

連合滋賀第2区地協で150名がボランティア参加

4月14日・15日、毎年恒例の長浜曳山まつりが開催されました。連合滋賀第2区地協では、地域との共生をめざすボランティア活動の一環として加盟組織の協力により2日間で延べ150名が参加しました。

長浜曳山まつりは、京都の祇園祭、高山市の高山祭と並んで日本三大山車祭の一つに数えられ、長浜曳山祭の曳山行事という名称で1979年（昭和54年）2月3日に重要無形民俗文化財に指定されています。

約400年前、戦乱の武将豊臣秀吉が長浜に築城し城下町を形成した頃から始まり、まつりの見所と言えば絢爛豪華な子ども歌舞伎や、曳山などがあります。



今回は高砂山（たかさござん）宮町組の曳航を行い、子ども歌舞伎は一谷嫩軍記 須磨浦の段 組討の場（いちのたにふたばぐんぎ すまうらのだん くみうちのば）の演目が4か所で披露され、たくさんの見物者が集まります。地域の方々や各単組のメンバー全員が一丸となって「ヨイサー、ヨイサー」の掛け声・協力のもと山車を曳きながら、交流を深めることができ、世界に誇る伝統と文化を披露することができました。これからもこの貴重な地域文化に貢献し本活動を継続していきたいと思えます。連合滋賀の構成組織の組合員の皆さんで一度参加してみたい方は来年度に第2地協にご相談ください。

男女平等標語 ーてんびんに 仕事と生活かけてみて になりたい自分 ーメモリをあわす

J P 労組 西村優紀子さん

毎月5日を「連合滋賀の日」に設定

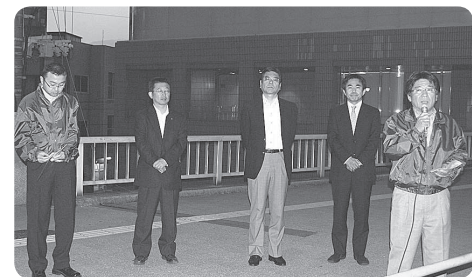
連合滋賀は、第12回定期大会において、すべての労働者の結集に向けた取り組みの中で、「連合滋賀の日」の設定について確認をしました。連合滋賀組織拡大中期目標「8万連合滋賀」にむけた運動の推進と地域協議会との連携を強化し、組織拡大一斉行動をはじめとした取り組みの一翼を担うとともに定期的な街頭行動を行い、連合や労働組合の役割を訴え、知名度の向上を図っていきます。

今後、毎月5日を基軸に、各地域協議会を持ち回り、駅頭等で街頭行動を行い、連合滋賀の組織拡大、政策・制度等をアピールしていきます。

連合滋賀第1区地域協議会をスタートに「連合滋賀の日」の街頭行動を5月7日、JR大津駅前において実施しました。

街頭行動では、山田清連合滋賀会長、藤川長隆第1区地協議長、連合議員団からは、成田政隆県議会議員、草川肇大津市議会議員がマイクアピールを行いました。

山田会長からは、連合が掲げる「働く者を軸とする安心社会」の実現に向けて組合員だけでなく、国民全体すべての働く人のために活動することが重要であり、非正規労働者の労働条件の改善、組織化を図って



いくことが連合滋賀の最重要課題であると訴えました。

藤川議長からは、地域に根差した活動を通じて、労働組合の存在をアピールし、連合の政策・制度の実現を図り、市民とともに安心なまちづくりをしていくと力強い表明をされました。

また、成田県議会議員、草川市議会議員からは、県・市議会の報告と連合滋賀のはたらく仲間や市民の声を県政や市政に反映させていくと訴えました。



身近なところから できるところから 「連合エコライフ21」に取り組もう

2012年6月1日から2013年5月31日まで「連合エコライフ21」を展開します。

1. 地球環境保全に向けた取り組み

「環境にやさしい10の生活」を継続し、より幅広い領域で環境に対する意識啓発を促し、個々の実践に向けた啓発運動を推進しましょう。

2. 電力需給対策に関する取り組み

夏期・冬期の電力需要期における全国的な電力供給不足が懸念されるなか、生活と産業に及ぼす停電を回避するために、電力需給対策に関する啓発運動を推進しましょう。

ピークカットアクション21

電力不足を乗り切る21のワザ

連合が提案する「ピークカットアクション21」で節電に取り組み、生活習慣の見直しにつなげていきましょう！

- ・待機電力を削減
- ・主電源をオフにする
- ・コメントを消しておく

エアコン

冷蔵庫

照明

テレビ

消費電力の約3割を占める家庭の節電が求められているのじゃ！

取り組み効果も「環境家計簿」で「見える化」しよう！詳しくはエコライフ21Webサイトへ！

連合エコライフ21

<http://www.rengo.org/>

エコライフ21

検索

男女平等標語 ー区別なく 個性が光る 素敵な社会 ーオムロン労働組合草津支部 小森 実幸さん